

今週のモーニングセミナー報告

令和6年2月28日(水)の講話 <第980回>

テーマ：竹に節あり

(一社)倫理研究所 法人局 法人レクチャラー 山口県倫理法人会 会長 津田英明 様

(松浦 清貴 会長) 昨夜の「経営者の集い」に引き続いて、津田英明さんの講話です。分かり易いご講話。保険の代理店の大型化、ポイントが上がる、どうしてもトラブルがあるようです。トラブルを聞いて、合併されましたが、どうなのでしょう？私は、昌山さんから今度会長をしてくれんやろか〜と、断るよりやるべきなんや〜と。先日の中間達成式典で三豊の立石会長と話をしたら、第一印象と違って、めちゃくちゃ明るくてすごくプラスになった。自分から話しかける大切さ学んだ。〜東かがわ市のスローガン：『明るく、楽しく、自己革新、今日も元気、スマイル東かがわ市〜』

(田中 緑 幹事) いま、家庭内に波風が立っています。夫と長女の間で・・・毎日ハラハラ、ドキドキ、このまま空中分解するのかな・・・会社内に居なくなかった。負の状態から抜け出すには〜。会計決算の内容が厳しかったので、会計士さん含め家族全員に話しました。2022年から始めた「てんぷらや」が、伸び悩んでいます、と会計士さんが話す。目標がぐじゃぐじゃだった。2月から一生懸命、いかにして負の状態から脱出するか。気持ち的によくなっている。「てんぷらや」は自己満足だったのか。今年は決算でも天ぷら屋の売り上げを伸ばしてゆきたい。

(津田 英明 法人レクチャラー) 山口県周南市から来ました。父は小学校の教員。母と三つ上の姉と。高校では野球部に入り、甲子園への出場も果たす。神奈川県での大学生活、卒業後は地元へ帰省。4年間、保険の研修期間。保険代理店独立〜結婚。法人化。より大きく大型化する時代。先輩と話し合い、家内と相談し合併。大変悩んだが42歳の時、地域ナンバーワンの代理店にしようと考えて。家内は妊娠・出産で退職。スタッフが辞めて行く。経営に対して「甘い考え方だった」先代・先々代の退職金のことを安易に考えていた。一時金で廻して、そのうちスタッフも人間関係で辞めてしまった。誰もいなくなった。父の墓参りから少しづつ好転。準備の大切さを「経営者の集い」・<準備する実践>で語って。本日は「竹に節あり」、高校野球時代の監督をしてくれた恩師の事。その関先生は陸上競技の選手出身、野球は経験なし。四十代後半で、当時有名な徳島・池田高校のところへ赴き、大変な中監督を引き受けてくれていた。山口県準決勝の試合、1対5で負けている、正直負けムードの中、先生は一声発して、この試合を一人諦めていなかった、掛け声をかけて同点、延長の末に逆転、勝利。家内が習っていた関係で裏千家の茶道を学んだ。一年に一度の茶会でお点前を披露する。緊張のあまり手が震える、茶杓を持ち手が震える。そのことを報告すると師匠は、「また節をひとつおぼえた」と言って、竹が伸びて強くなるには節が無くてはならない、失敗や経験は竹の節のたとえ。13年間やっています。富士研での家族にあてた手紙を書く実習、双子の子供が未熟児で生まれて2か月間母乳を毎日届けてくれたことなど思いだして、涙で書けなかった。そのことを話していないけど何か伝わっていたのでしょうか？それから家内は毎朝、「行ってらっしゃい」と玄関の前まで、見送ってくれています。

担当者：赤山 芳隆

田中緑幹事のスピーチ

野菜育て以外に天ぷら屋さんもしています。家族内でのトラブルからうまくいかないこともあったりするが天ぷら屋の売り上げを上げていく決意を話されました。いろいろなことに挑戦する姿が素敵だと思いました。

津田レクチャラーの講話

昨日の経営者の集いに引き続き、モーニングセミナーで講話をしていただきました。私は同じ保険代理店の業界の人間なのでレクチャラーの講話で保険会社が代理店の大型化を進め、トラブルが多くある話がとてもよくわかりました。大学卒業後、保険会社の研修生制度を利用して独立。現在54歳、42歳の時に合併をして大型化を進めていく。地域密着代理店を目指したがスタッフが辞めていく、スタッフからの反発などうまくいかないことだらけだった。社員の退職金の問題についても話されました。高校野球をしていた時の話もされ、恩師の事、親の墓参りをして心が軽やかになったことの実践について話されました。私も保険代理店経営でうまくいかないこともあったりしますが自分の人生、進む道をもう一度確かめてやって意向を思いました。2日間にわたり講話ありがとうございました。

会長：松浦 清貴

出席社数 14社 14名

次回のご案内

(モーニングセミナー)

日時：3月6日(水) 6:00~7:00 会場：南新町自治会館2階

テーマ：自分が引き込んだ苦難に立ち向かって

講話者：香川県倫理法人会 研修委員長 井原英明

香川県東かがわ市倫理法人会 TEL (0879) 26-9000/FAX (0879) 26-9001

メールアドレス rinri-hk@ma.pikara.ne.jp